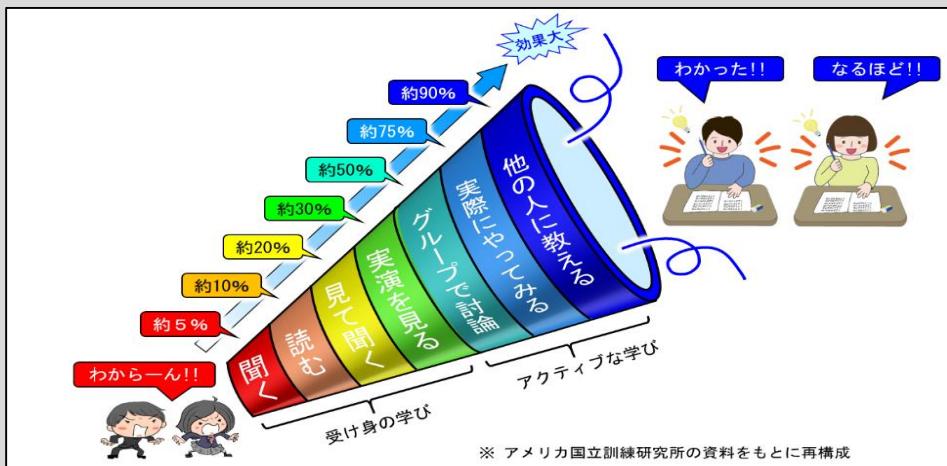


南海中では、グループ学習（4人組）を取り入れた『学び合い』学習を通して学力や社会性（コミュニケーション能力）を育てていくことを重視しています。今日は「学び合い」とは何かについて、またそのポイントについてQ&A方式で一緒に確認していきましょう。

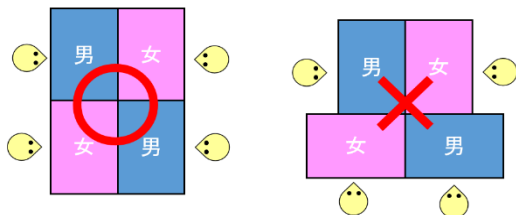
▼右図は学習の手法ごとに学習者の記憶に残る割合をまとめたものです。単純に聞いたり読んだりした時、10%の割合でしか記憶に残らないのに対して、人との関わりが多いグループでの話し合いや、他の人に教える時、50%～90%が記憶に残るといいます。つまり、**学び合いに取り組むことで、**



一人で学ぶより学習したことが身に付きやすく、学力が伸びる可能性が高いと言えるでしょう。

▼人はみな助け合って生きています。上記のように「学び合い」で、学力が伸びる可能性が高いといわれています。しかし、授業の中で全体に「ねえ、ここどうするの？」や「ここわからない、教えて」というのは、大きな勇気が必要です。だから、少人数グループ（おもに4人）で学び合います。**少人数グループで学び合うことで、人との関わり方を知り、人に支えられたり、支えたりするといったコミュニケーション力（社会性）が育まれていきます。**

Q1 なぜ、机が男女ごとの市松模様になっているんですか？



縦横のどの向きでペアをつくっても、4人グループになっても、学級全体で大きなコの字の隊形になっても、必ず、前後左右は異性の並びになります。この並びでは、男子の良さや女子の良さがお互いに引き出されやすくなります。男子の良さは、議論の中で積極的に意見を発信する力とされています。女子の良さは、慎重に話の内容を練る力とされています。つまり、市松模様になることで男女同士が自然にかかわることができ、意見を発信すること、意見の内容を練ることがバランスよく行われ、より良い意見が引き出されることにつながるのです。このことは「学びあい」の先進校でも言われており、本校では、同様のやり方を踏襲しているのです。



南海中では全員が授業に参加して「わかる」をめざす「学び合い」をめざしています。そこで、教師も生徒もみんなで以上のポイントを大切にしていきたいと思います。